馬耳東風

猟期になると「山の神様ありがとう！」の声ともども山帰りの猟師がやって来る．沢でよく洗った獲物のイノシシが荷台に縛り付けてある．何匹ものお供の猟犬が檻からこっちを見ている．いかにも狩りの本領を発揮し終えた満足気な顔に見える．関東の奥地から信州の入り組んだ山奥を野宿して駆け巡ったという．その中の一匹が診察台に担ぎ込まれた．巻き付けられたタオルに血が滲み出ている．体のあちこちに傷がある．イノシシの鋭い牙で反撃されたという．吠え込んで追い詰めるだけの仲間犬は無傷なのに，勇猛果敢な咬み付き犬が必死に抵抗するイノシシの牙に掛かったのだ．名誉の負傷と言うべきか．傷が軽ければ無麻酔で口輪保定だけで縫う．時には内臓が飛び出したまま運び込まれるのもいるが，さすがに我慢強いのが多い．狩りの血が騒ぎ，傷も癒えないうちに再び山へ放たれたりもする．犬にとって猟期こそ本能に従う闘いの時なのだ．シカやクマ，時にはカモシカにも遭遇する．追い詰められた若いクマは，実に素早く木に登って身を守るという．人家が近いと，多くは箱わなが使われる．タケノコの季節は，イノシシと人の先取り競争である．あの鼻でブルドーザーのように見事に掘り返して食いあさる．もちろん芋など根菜類もそうだ．シカの食害も今や無視できなくなった．野生鳥獣の被害が数字化され鳥獣害対策が表面化してきた．猟友会への駆除・駆逐の委託，忌避剤の活用や電気柵の設置が行われる一方，各地で箱わな講習が行われている．獣種の見分け方から生態や習性を学び防止策を考える．鳥獣保護法，外来生物法などを勘案し，農業振興と環境・保全生物の両面から機能的な運用を図る．今やアライグマとハクビシンは都市部にも広く侵入し，特に空き家が問題化している．イノシシやシカの他，クマの出没は防災上早急かつ適切な対応が求められ，鳴り物や餌場撤去の対策が進められている．サルは発信機の取り付けにより，集団的な行動が把握され追い払い対策がとられる．山里でサル除けに急いでイヌを飼ったが吠えないので役立たないと嘆く．どうやら特別な訓練が必要のようだ．道路の警戒標識もシカの他，イノシシやサルなど種類も増えてきた．

生活圏で野生動物が話題化されて久しい．里山の放置が，野生動物の侵入を招いたとよく言われる．農山村の経済環境は実に厳しい．都市産業を目指す人口流出で限界集落という言葉まで生まれた．かつては姿を見ると山に餌が少なくなったからだとか，数が増え過ぎたとか，里人の善意の解釈が成り立っていた．家路に着くと，彼らとの出会いを夕べの語らいにしたものだ．農作物の鳥獣害対策や生物多様性と環境保全型の施策は，野生鳥獣との共生を目指す観点から，天敵の乏しい昨今，個体数把握と適正な管理が求められ捕る，狩る，屠る行為として，今や知の課題となった．山神の怒りに触れない感謝の糧でありたい．峠道に光が差すと，石塔に刻まれた大日如来の梵字が浮き立つ．古に素朴な里人が集い，山への畏敬の念から本地仏とした山神への思いが交錯する甲午の初春である．

（柏）